



急な帰国決定!

帰国に間に合わない時は
どうする??

どうする 180 日の待機期間。中国での待機? それとも日本で係留?

待機期間中の対応方法

トランジットアジア上海: 松雪 2016/6/1

ワンちゃん・ネコちゃんとの中国生活。いつかはやってくる日本への帰国。日本への帰国を想定して、検疫関連の諸手続きを進めていけば、長期の待機期間や日本での係留措置を免れることが可能です。しかしながら、突然の帰国や定期的な狂犬病予防接種を行っていなかった場合など、飼い主様の帰国日までに諸手続きが間に合わず中国にペットを残す事が必要な場合や、連れて帰っても日本の空港で係留措置が取られる場合がございます。急な帰国時の預け先、係留措置先に関して、紹介いたします。

中国でご友人に預ける

ご友人や知人宅へ預ける事ができれば、毎日の様子や、何かあった時の対応も安心な面はあります。しかしながら、長期となると、なかなか預けにくい状況や預け先への負担を考え躊躇してしまうのも正直なところ。この方法がとれるのは限られた状況下ではありますが、信頼できるご友人や知人がいて受け入れてくれれば安心です。ただ、一定期間ご友人や知人宅ではワンちゃんネコちゃんと一緒に生活をする事で、ワンちゃんネコちゃんへの愛情が湧く事になります。待機期間後の飼い主のもとへ戻る際にお別れがつかなくなる場合もあります。特にお子様がいらっしゃる場合、お別れがとてもつらかったというお話をよく伺います。

長期ボーディング (ペットホテル) へ預ける

中国の主要都市では、ワンちゃんネコちゃんを短期長期問わずボーディングできる場所がたくさんあります。専門施設でボーディングをしているところ、個人でホームステイを受け入れている方、ペットショップや動物病院で併設し受け入れているところなど様々です。トランジットアジアでは、数あるボーディング先から、立地や毎日のお世話の状況を見学し、お勧めできるボーディング先を紹介いたします。

日本の到着空港で係留措置をとる

中国でのご友人や知人宅、ボーディングも無理な場合、日本へ連れて帰り、日本の空港にて待機期間が終了するまで係留措置を取る事が可能です。特に成田空港の係留施設は設備も良く、面会も可能ですので選択肢の一つとしてご案内いたします。しかしながら中国でのボーディングと比較すると費用面では割高となります。日本の方が安心。関東に住んでいるので面会も頻繁に行けるので、など飼い主様の状況にあわせて検討してください。

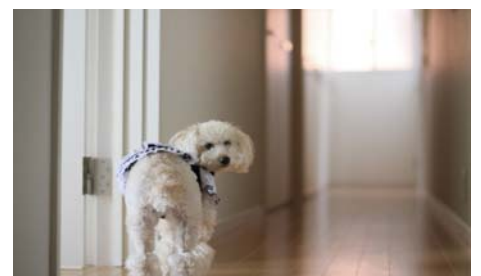
3通りの方法がありますが、特に中国での長期ボーディングと日本の空港での係留の2点を詳しく次項でご案内いたします。



長期ボーディング (ペットホテル) へ

中国でのボーディングって心配? どんどころ? 毎日の状況って知らせてもらえるの? そんな疑問を解決します。

2 ページ



到着空港での係留措置へ

日本であれば安心? 面会は? 費用面もとっても気になる。そんな疑問を解決します。

3 ページ

解放的アットホームなボーディング

上海ディズニーに近く、自然が残る浦東新区の外れ。外国人の利用も多く市内最大規模のボーディング。国慶節や春節時期は100匹を超える数を預かる事が出来る大きな施設では、24時間体制で専門スタッフが対応してくれる。特にプールなどの遊具や自然が多く、ワンちゃんも比較的のんびり過ごしたり、活発な犬種はドッグラン気分がたくさん遊べます。毎日の状況を微信で配信してもらえるのも嬉しいサービス。

- ➡ 場所：浦東新区（見学随時可能）
 - ➡ 搬送迎：可能（長期の場合無料）
 - ➡ 毎日のお知らせ：WeChatなどで配信可。
 - ➡ 短期宿泊費用：100元/泊～
 - ➡ 長期宿泊費用：1800元/月～
- * 病気などの際は、飼い主への連絡後、提携病院で処置（病院の指定も可）



基本的なデイクア項目

ブラッシング 1回/日
2時間の散歩/日
午後のおやつ
WeChatなどによる写真の送信
シャンプー/週1回～ 長期宿泊の場合（飼い主の指示により）

別費用

目や耳のクリーニング、お気に入りの玩具での遊び、特殊な食事、病気などの際の病院費用や搬送費、害虫駆除費用など

大型犬でも対応可能な広さを完備



病院も併設された、ヨーロッパ風ボーディング



浦西地区に本店のある動物病院、トリミング、ペットショップと短期長期ボーディングを併設し、衛生的な施設。

利用者は中国人の方が多くですが、台湾系の病院ということもあり、連日たくさんの方が来る人気店。

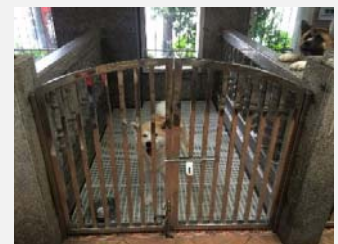
ペットショップでは日本の品物も多く取扱いがある。

- ➡ 場所：浦西新区（見学随時可能）
- ➡ 搬送迎：可能（長期の場合無料）
- ➡ 毎日のお知らせ：WeChatなどで配信可（動画も可）

- ➡ 短長期宿泊費用：150元/泊～
- ➡ 害虫駆除費用：99元～/回
- ➡ シャワー 250元/回

* 病気などの際は、飼い主への連絡後、施設内の病院で処置

掃除の回数が多いのか、とても清潔



成田空港係留施設



動物検疫所小動物検疫舎

中国で待機期間を迎えるまで待つのはちょっと、という場合は日本の到着空港での係留措置となります。狂犬病抗体価検査の為の採血日から180日が過ぎるまでの期間となり、最大で約6ヶ月間の係留となります。係留施設は冷暖房、面会室、運動場が完備されています。

成田空港

料金： 3,000円～/泊 (食事、光熱費、洗浄消毒費等が含まれます。)

その他費用： 処方食や特別食、シャンプー、ワクチンや治療費
空港内搬送費など

羽田空港

料金： 3,240円～/泊+管理費用2,160円～/日

その他費用： 食事、光熱費、シャンプー、ワクチンや治療費、空港内搬送費など

犬用エリア

犬舎が色別設置されています。各犬舎には居室とパドックが完備。

■居室
水道、電源はこの部屋にあります。ここで給餌の用意をしていただきます。

■パドック
パドックにて、自由に運動が可能です。
各種の愛犬が用の動物と接触する危険を避ける構造です。

■犬舎
犬舎の室温は居室のエアコンで自動的にコントロールされます。皆様の愛犬は大変で快適に過ごされます。

■シャワー室

羽田空港の係留施設は民間のペットホテル業者へ委託されています。その為、宿泊費以外に管理費用が発生します。

長期に及ぶ場合、1か月あたり16万円以上の費用が掛かります。

その他の空港（中部国際、関西空港など）については、お問い合わせください。

急な帰国で180日の待機期間に間に合わない場合の対応として、中国でのボーディング、日本での係留を比較すると、料金面では中国でのボーディングが割安とはなりますが、安心面や何かあった時の獣医さんとの連絡等を考えると日本での係留も検討する必要があります。ワンちゃん、ネコちゃんの年齢や体調、環境など十分にご家族で話し合しましょう。トランジットアジアでは、事例やご利用者の感想など情報を集め、これから検討される方への情報提供を行っております。ご不安な事やご質問、ボーディング施設への見学など、お問い合わせください。



トランジットアジア上海
上海市長寧区婁山関路 83 号
新虹橋大厦 3208 室
Tel 021 3208 7880

Email : shanghai@transit-asia.com